＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ロング＆スマート住宅
グループの名称	ロング＆スマートの住まいをつくる会
直近採択グループ番号	--

（グループ代表者）

代表者名	河原崎　鉄平　代表者印
代表者所属先	河原崎建設株式会社
代表者所在地	静岡県富士宮市東阿幸地325
代表者電話番号	0544-27-8716

（グループ事務局）

事務局事業者名	パナソニックリビング中部株式会社
事務局担当者名	小澤　健二　印
事務局郵便番号	410-0053
事務局所在地	静岡県沼津市寿町18-15
事務局電話番号	055-922-1331
事務局FAX	055-922-1990
事務局担当者E-mail	ozawa.kenji01@jp.panasonic.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ロング＆スマート住宅
２．グループの名称(必須)	ロング＆スマートの住まいをつくる会
３．直近採択グループ番号(必須)	--
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県全域及び近隣地域
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	河原崎　鉄平
７．グループ代表者の所属先(必須)	河原崎建設株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	静岡県富士宮市東阿幸地325
９．グループ代表者電話番号(必須)	0544-27-8716
１０．グループ事務局事業者名(必須)	パナソニックリビング中部株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	小澤　健二
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	410-0053
１３．グループ事務局所在地(必須)	静岡県沼津市寿町18-15
１４．グループ事務局電話番号(必須)	055-922-1331
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	055-922-1990
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	ozawa.kenji01@jp.panasonic.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	2	海外事業者を含みますが、念書取得が困難な為本リストには掲載していません
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	6	海外事業者を含みますが、念書取得が困難な為本リストには掲載していません
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	0	「?．プレカット加工」事業者から直接仕入れを行う予定で有る為掲載していません
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	4	
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		20	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟
			0	㎡
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟
			0	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	?採択時に2棟を上限として施工事業者に均等配分を実施。 ?更に、余剰枠を9月末時点で交付が着実にできる施工事業者に優先配分。 ?それでも残った枠分を抽選にて配分する。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)					
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	優良建築物型					
	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸
	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外事業者を含みますが、念書取得が困難な為本リストには掲載していません

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
22	Ⅰ － 17	有限会社小寺製材所		412-0023	静岡県御殿場市深沢１７６６－２１	0550-82-0192
32	Ⅰ － 18	日新林業株式会社		690-0887	島根県松江市殿町283	0852-23-3822
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外事業者を含みますが、念書取得が困難な為本リストには掲載していません

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
22	Ⅱ － 17	有限会社小寺製材所		412-0023	静岡県御殿場市深沢１７６６－２１	0550-82-0192
29	Ⅱ － 19	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15－１	0746-32-0563
34	Ⅱ － 20	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷３丁目１－１	0823-71-7143
34	Ⅱ － 21	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町３－２－２０	084--934-6717
32	Ⅱ － 22	島根合板株式会社		697-1326	島根県浜田市治和町ロ８９５－２	0855-27-1625
33	Ⅱ － 23	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山１２０９	0867-44-2695
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
「?. プレカット加工」事業者から直接仕入れを行う予定で有る為掲載していません

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
22	Ⅳ － 11	ポラテック富士株式会社		417-0801	静岡県富士市大淵字元篤３８００－７	0545-37-1192
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
22	Ｖ － 4	渡辺建設株式会社		410-1125	静岡県裾野市富沢394-1	055-992-0030	○	
22	Ｖ － 5	大和建設株式会社		414-0014	静岡県伊東市弥生町４番４号	0557-738-1123	○	
22	Ｖ － 15	河原崎建設株式会社一級建築士設計事務所		418-0071	静岡県富士宮市東阿幸地325	0544-27-8716	○	
22	Ｖ － 16	曰幸産業株式会社一級建築士事務所		412-0042	静岡県御殿場市萩原496-1	0550-82-0677	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
22	Ⅵ - 1		河原崎建設株式会社		418-0071	静岡県富士宮市東阿幸地325	0544-27-8716	○	
22	Ⅵ - 2	74800	臼幸産業　株式会社		410-1304	静岡県駿東郡小山町藤曲109-1	0550-76-1200	○	
22	Ⅵ - 3	75103	山本建設株式会社		411-0832	静岡県三島市南二日町８番３９号	055-975-4488	○	
22	Ⅵ - 4		渡辺建設株式会社		410-1125	静岡県裾野市富沢394-1	055-992-0030	○	
22	Ⅵ - 5	75169	大和建設株式会社		414-0014	静岡県伊東市弥生町４番４号	0557-738-1123	○	
22	Ⅵ - 6	75108	住起産業株式会社		411-0833	静岡県三島市中250-5	055-972-1567	○	
22	Ⅵ - 9	75112	勝亦製材駿河鉄骨株式会社		412-0035	静岡県市中山５１８	0550-87-0048	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
22	Ⅵ－ 1		河原崎建設株式会社	27 戸	27 戸	8 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
22	Ⅵ－ 2	74800	臼幸産業 株式会社	27 戸	26 戸	14 戸	12 戸	1 戸	0 戸	7 戸	3 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
22	Ⅵ－ 3	75103	山本建設株式会社	6 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ－ 4		渡辺建設株式会社	10 戸	6 戸	6 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
22	Ⅵ－ 5	75169	大和建設株式会社	17 戸	17 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
22	Ⅵ－ 6	75108	住起産業株式会社	12 戸	9 戸	4 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
22	Ⅵ－ 9	75112	勝亦製材駿河鉄骨株式会社	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡				

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
27	Ⅶ － 13	パナソニック アーキスケルトンデザイン株式会社		571-8686	大阪府門真市大字門真1048	06-6907-4949
23	Ⅶ － 14	パナソニックリビング中部株式会社		450-8611	愛知県名古屋市中村区名駅南2-7-55	052-562-4108
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －				

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） ロング＆スマート住宅	（地域型住宅供給対象地域） 静岡県全域
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） ロング＆スマートの住まいをつくる会	（結成年） 2016　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	－－	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・近い将来予測される地震や台風など災害に備え、長寿命型は耐震等級2以上とし、等級3と制震ダンパー設置を推奨する。（グループ内の耐震等級3以上の割合を60％以上とする。） ・断熱、省エネ性能を高め、一次エネルギー消費量を基準値より10％以上を削減します。 ※壁・屋根（天井）の断熱材は高性能品しか入れを推奨します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・木造軸組工法とします。 ・災害時を想定した場合非常用水の取れる貯湯式（エコキュート）給湯器を推奨します。 ・省エネ性能を上げるため区分「い」の高性能エアコンを推奨します。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・静岡県は住宅建築地域が海岸沿いから比較的標高の高い高原地域にまで多岐に渡っており、その地域なりの気候風土に照らした建築が必要であり、 高性能設備ばかり頼らない通風や軒の出、窓形状などを考慮したデザインとします。 ・建設地の街並みガイドライン等に基づき、地域に相応した外観とします。	◎
④ ①～③の背景	・東海地震（南海トラフ地震）の地震防災対策推進地域に指定されており、住宅に於いても耐震への備えが求められています。 ・静岡県は雪が降りにくいだけでなく、「雨が多い」「日照時間が長い」「暖かい」といった気象特性があります。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・建築主の権利保護の為、長寿命型も含めBELS認証取得など住宅の性能の見える化を進めます。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・柱は3．5寸を標準に4寸も可とします。 ・集成材はJAS認証品（PEFC認証も可）とします。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・建材・設備機器については標準採用メーカーの統一性を計り、コスト対応をおこないます。 ・内装・下地材は☆F4を仕様します。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・断熱及び設備は推奨仕様を定めます。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・事務局が一括して、資材調達価格交渉も行うことで、コスト対応を行います。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・主に、建築主との打合せ記録書兼仕様書に代わるプレゼンボードや選定チェックシートを利用し、分かりやすさと統一化を図ります。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・構成員の成功事例を共有し、合理化に関しレベルアップに取り組みます。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：・事務局が中心になって、他地域の成功事例や取組みをを構成員に周知・紹介します。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：・メーカーや工法の施工書に添った施工を基準にします。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：・瑕疵保険の検査の前に自主検査を実施、結果を照合してレベルアップを図ります。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある　→	内容：	
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：・建築主の信頼感を向上させるためのBELS評価の取得等、住宅性能の見える化を推進します。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：・週休2日を導入している事業者の事例を発信し、取組みへの意識強化を図ります。 ・週休2日、月次残業時間の規制を踏まえ、工期延長、費用増を見込んだ契約とする様注意喚起を行ないます。	◎
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：・手当て等資格取得支援の事例を紹介し、取組み支援を行います。 ・建設キャリアアップシステムへの登録を推奨します。	◎
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：・現場入場者名簿作成の徹底を推奨します。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：・安全衛生協議会等を開催した経験の無い事業者に開催の為の資料提供を行い、開催の支援を行ないます。今年度は墜落災害防止を重点取組みとします。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・民法改正を踏まえ、契約書等の見直しや対応方法を事務局が中心となり推奨していきます。				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ロング＆スマート住宅	（地域型住宅供給対象地域）静岡県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ロング＆スマートの住まいをつくる会	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・外部サービス期間を活用することにより、情報の見える化をします。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：・各構成員が加盟しているサービス機関にて対応する。無い場合はパナソニック㈱のリビングベルを紹介します。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・引き渡し時にサービス期間・利用法を説明し、施主様が随時確認できるようにします。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・維持管理計画書は事務局が共通のフォーマットを作成し活用します。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・補修時は新築時と同様施工マニュアル通りに施工を行い、履歴を蓄積します。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・外部情報サービスの活用により、建築主自らが確認出来る様にします。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・事務局が主体となりOB施主を中心に予定客も含めお手入れの説明会を実施します。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・相談会・イベント等でDYI体験会等施主様向けの体験会を実施します。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：・事務局が中心になって、住まいのお手入れやリフォーム相談会を実施します。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：・事務局がインスペクションや維持管理に関して説明会を開催し構成員のレベルアップを図ります。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：・保険法人等第三者機関の点検サービスを紹介し、推奨します。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：・構成員をバックアップビルダーとするスキームを作り、構成員が引き継ぎます。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・住宅瑕疵担保保険法人に協力を求め、過去の事例で学ぶ研修会を開催します。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

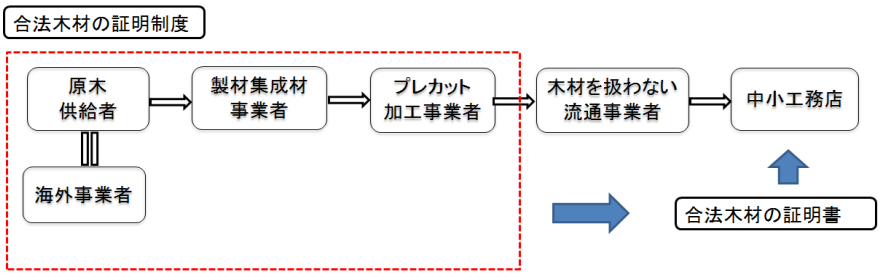
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・未経験工務店については事務局や設計構成員が支援します。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：・図面に確認記録の残る施工自主検査ルール。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・工務会等の開催時に徹底すると共にアンケート等により確認を図ります。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：・年度初めに構成員等に事業計画を策定、それに元づき需給計画を策定します。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：・2年後の改正省エネ基準義務化に向け、構成員（設計、施工事業者）へ断熱や窓サッシメーカー担当者を招き、勉強会を適宜実施し技術向上を図ります。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：・成功事例を各業種の構成員で共有し合理化を進めます。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数		今年度の参加目標人数	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：・事務局より各地講習開催予定を連絡し、受講を促進します。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：・将来的に建築従事者が減少していく中での、建築躯体工業生産化等の技術革新に関する情報を構成員に発信し、導入を推奨します。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：・ゼロエネルギー住宅の探求を実施し2020年過半を目標にあげ、効率の良い躯体断熱等を盛り込んだ仕様の建物の開発に努めます。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）ロング＆スマート住宅	（地域型住宅供給対象地域）静岡県全域
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）ロング＆スマートの住まいをつくる会	（結成年）2016 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	--	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・地域材は国内、国外の合法木材とします。（但し集成材に関してはPEFC認証制度を利用したものでも可） ・主要構造部は過半に地域材を使用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・事務局が木材構成員と在庫状況を共有し、随時施工構成員に情報を発信します。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・事務局が木材構成員から価格変動などの情報を収集し、随時施工構成員に発信します。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・四半期毎に事務局が施工構成員から情報を収集し木材構成員に需要予測発信する。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・今年度の使用予定数（1畳換算）102枚（予定棟数の半数に6畳和室を導入と換算）	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・今年度の使用予定枚数（3×6換算）80枚	○
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・地域の条例や景観ガイドライン等に元づき街並みに配慮した設計をします。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・3世代住宅を中心に高齢者に配慮し、和室の設置の提案をします。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	各種現場イベント(施工者)において、東日本震災の復興に対する募金を募り、復興財団へ寄付を行う。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	各種現場イベント(施工者)において、熊本地震の復興に対する募金を募り、復興財団へ寄付を行う。	○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） ロング＆スマート住宅	（地域型住宅供給対象地域） 静岡県全域
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） ロング＆スマートの住まいをつくる会	（結成年） 2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	－－	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型（認定低炭素住宅）】

・平成28年省エネ基準以上の断熱性能を確保します。
　併せて、省エネ設備機器（節水・節湯）の採用によりBEI　０．９をクリアします。
・1次エネルギー消費量計算結果を元に、省エネ性能を判り易く表示、お客様への信頼向上に努めます。
・2項目の低炭素措置は木造と節水設備の採用とします。

【高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）】

・平成28年省エネ基準以上の断熱性能を確保します。
　併せて、省エネ設備機器（節水・節湯）の採用によりBEI　０．９をクリアします。
・1次エネルギー消費量計算結果を元に、省エネ性能を判り易く表示、お客様への信頼向上に努めます。

【高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）】

・外皮、開口部性能を強化する為、高性能断熱材、樹脂サッシの採用を推進し、Ua値0.6以下基準とした外皮性能を基準とします。
・当会で実施するゼロエネルギー住宅性能に関しては、R0値２５％、またはR値を１００％以上を目標にします。
・上記以外にも、間取りプラン等の工夫や高効率省エネ機器を採用して太陽光発電に頼りすぎない快適で安全な住宅提案を
　施主様に実施します。
・BELS評価書の取得によりゼロエネを確認します。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。